

2月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
みかん類	10,521	80	10,579	242	136	264	0	0.0	静岡、長崎産中心の入荷となる。2月は静岡の「寿太郎」や九州の「今村系」、和歌山の「丹生系」も始まり、総入荷量は少ないが、価格は1月と同じく前年を上回ると予想される。晩柑類も急増はなく、引き続き静岡「青島温州」中心に、動きは堅調との予想。
りんご類	7,236	上回る	6,266	282	105	279	123	1.7	青森産が殆んどを占める。1月まで輸入に忙しかった系統・商系なども本格的に市場に向けて出荷してくる。2月も引き続きキロ単価300円で前年を上回る見込み。
いちご類	3,947	やや下 回る	4,123	1,402	97	1,247	0	0.0	栃木、福岡、佐賀、静岡産中心の入荷となる。1月中旬から全国的に低温・曇天となって入荷は急ブレーキとなっている。2番果の出荷が本格化してくるのは2月に入ってからで、中旬からは順調な入荷が見込まれる見込み。増減幅は少なく、比較的安定した価格推移となる見通し。
キウイ	946	やや下 回る	853	431	120	407	0	0.0	福岡、和歌山、愛媛中心の入荷となる。1月は前年比120%の大幅高値となった。ニュージーランドの早めの切りあがりや、九州の産地が不作となったことで、全国的に出回り不足とばったことが要因か。2月は入荷量は1月と同程度で、価格は引き続き前年を上回ると予想される。